

筑豊地区中学校体育大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン

1 大会を開催するにあたって

本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」、「福岡県大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」を受けて、大会を実施するにあたっての基準や感染拡大防止のための留意点について、筑豊地区中学校体育連盟としてまとめたものです。各専門部におかれましては、本ガイドラインに沿って大会を実施していただき、必要に応じて、各競技大会の特性に応じた競技別のガイドラインの作成に取り組んでいただきますようお願いします。

なお、今後の知見や情報の集積、及び各地域の感染状況を踏まえ、随時見直すことがあることを申し添えておきます。ご理解のほどよろしく願いいたします。

- (1) 3密(①換気の悪い密閉空間, ②人が密集している, ③近距離での会話や発生が行われている)の発生が原則想定されないこと。(人と人との間隔はできるだけ2mを目安に)
- (2) 大声での発声, 声援, 又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと
- (3) その他, 必要に応じて, 適切な感染防止対策(入場者の制限や誘導, 手指の消毒設備, マスクの着用, 室内の換気等)が講じられること。→大会要項に明記すること

以上のような条件が整わない場合は、大会の中止または延期をしていただく必要があると考えます。またしっかり対策を取っていても、その時点の感染状況に応じて(緊急事態宣言や県内の感染状況など)、大会の急な中止、又は延期の対応を事務局からお願いすることがあります。

2 大会開催・実施時の感染防止策について

筑豊地区中学校体育連盟として大会参加者が安全・安心に参加できるよう、開催にあたり留意すべき点をまとめています。以下の内容を踏まえつつ、各競技大会の特性を勘案して、感染拡大防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し、適切な場所に掲示するとともに、各事項がきちんと遵守されているか定期的に確認すること、関係者全員が感染拡大防止のために取り組むことが必要です。

(1) 大会参加者(生徒, 応援者, 競技役員等)への事前対応

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、ほかの参加者の安全を確保する観点から、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - ア 平熱を超える発熱がある場合
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状がある場合
 - ウ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある場合
 - エ 嗅覚や味覚の異常がある場合
 - オ 体が重く感じ、疲れやすい症状がある場合
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - キ 同居家族が濃厚接触者と保健所から判断された、もしくは判断される可能性が高い場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- そのため、大会当日に「大会前健康チェックリスト」、大会2週間後に「大会後健康チェックリ

スト」の提出を義務づけること。

- ② マスクを必ず持参し、着用すること。(競技中以外、控室での着替えや会話をする際は、必ずマスクを着用する)
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ④ 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
- ⑤ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 大会当日の留意事項

主催者は、大会当日に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため以下に配慮することが必要である。

- ① 会場入り口、トイレ手洗い場には手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は、会場内に入らないよう呼びかける。
- ③ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。

(3) 大会参加者(生徒、応援者、競技役員等)への対応

○ 体調の確認

主催者(筑豊地区中体連事務局及び専門部)は、大会当日に、参加者から以下の事項を記載した『大会前健康チェックリスト』、『大会後健康チェックリスト』を求めることが必要である。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) ※個人情報の取扱いに十分注意する。
 - ② 大会当日の検温
 - ③ 大会前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱がある場合
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状がある場合
 - ウ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある場合
 - エ 嗅覚や味覚の異常がある場合
 - オ 体が重く感じ、疲れやすい症状がある場合
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - キ 同居家族が濃厚接触者と保健所から判断された、もしくは判断される可能性が高い場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ※ 2種類のチェックリスト(『大会前健康チェックリスト』、『大会後健康チェックリスト』)は筑豊地区中体連事務局が作成し、各地区理事宛てに電子メールにて送信する。
- ※ 『大会前健康チェックリスト』は顧問教師→(会場責任者)→専門部長→理事長の順で集約する。(1ヶ月保管)
- ※ 『大会後健康チェックリスト』は顧問教師が大会2週間後に回収し、学校で2週間保管する。取り扱いには十分注意する。

○ マスク等の準備（屋外で十分な距離が確保できている場合は除く）

主催者（筑豊地区中体連事務局及び専門部）は、参加者がマスクを準備しているか確認することが必要です。なお、競技中のマスクの着用は参加者等の判断によるもの（※）とするものの、競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクの着用を求める。

（※） マスク（特に外気を取り込みにくいN95などのマスク）を着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知するよう配慮すること。

○ 大会参加前後の留意事項

大会に参加する個人や団体は、大会前後のミーティング等においても、3密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮することが求められています。

（4）大会の主催者（筑豊地区中体連事務局及び専門部）が準備すべき事項

○ 手洗い場所

- ① 手洗い場には石鹼（ポンプ式が望ましい）を用意すること。
- ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

○ 更衣室、休憩所、待機スペース

- ① 広さにゆとりを持たせ、ほかの参加者と密になることを避けること。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

○ 洗面所

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示すること
- ③ 手洗い場には石鹼（ポンプ式が望ましい）を用意すること。
- ④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）

○ 観客の管理

- ① 観客同士が密な状態にならないようにすること。
- ② 大声での声援や会話を控えること。
- ③ 会話をする際は、マスクを着用すること。

3 筑豊地区体育大会の追加開催基準

(1) 開催時期

各競技の特性に合わせて、部活動再開から大会までの期間を検討し、事故のない安全な大会の実施を考えること。

(2) 開催方法

必要最低限の人数で実施

- ① 選手：エントリー選手及び補助生徒のみの入場
- ② 競技役員・大会補助員：試合に必要な最低限の人数とする。
- ③ 応援：感染拡大の状況を鑑み、無観客又は入場制限を行うことを考える。

(3) 競技会場及び競技上の留意事項

基本的な感染対策

- ① 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するように指導する。特に、会場出入口にはアルコール消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備する。
- ② 競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人の物を使用する。
- ③ 競技における適切な環境保持のため、会場内の換気（できれば2方向の窓を同時に開ける）の徹底。空調や衣服による温度調節を含めて、温度・湿度管理に努める。
- ④ 人が集まる場所（待機場所）ではフィジカルディスタンス2メートルを保ち待機させる。
- ⑤ 常時解放できない競技は30分に一度一斉換気を行う。
- ⑥ 共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑦ 握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないこと。応援は拍手のみで行う。

(4) 健康観察の実施

大会に参加するすべての者（選手、顧問、大会役員等会場に入るすべての者）の検温を実施。

- ① 特に選手は引率者が責任をもって、検温結果を確認すること。
- ② 引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については、保護者及び学校管理職に連絡の上、参加させないようにする。選手の健康状況については、引率者から専門部長に報告し、専門部長は大会運営に支障がある場合には、その結果を担当理事に報告する。

(5) 開会式・閉会式について

開会式・閉会式は簡素化し、実施しない場合もあり得る。

(6) 部員又は顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

○ 大会前

- ① 部員又は顧問（関係指導者）の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。ただし、発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快から72時間経過し、2回のPCR検査が陰性と判断された場合には出場を認める。
- ② 団体競技においては、参加申込後の選手交代を認める。
- ③ 個人競技においては欠場とする。

○ 大会期間中

- ① 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。（各学校で指示しておくこと）
- ② 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ③ 他の選手等への健康観察を徹底する。
※ その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は、各学校や行政機関の指示に従うこと。その経過等については、各地区理事長を通じて、筑豊中体連事務局に報告すること。その後大会運営について中止、または延期を判断する。

(7) 大会参加申込書

- ① 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は各学校で保管すること。
- ② 大会参加を強要することがないように配慮すること

参考：スポーツイベントの再開に向けた感染拡大防止ガイドライン

別添1・2 スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト（日本スポーツ協会）

新型コロナウイルスガイドライン（福岡県高等学校体育連盟・福岡県中学校体育連盟）

厚生労働省通知文

筑豊地区中学校体育大会

参加同意書

* 大会に参加する可能性（補助役員等含む）がある生徒が提出して下さい。

参加者全員の安全を第一とした新型コロナ感染拡大防止を最優先にした大会の運営の趣旨を理解し、ガイドラインを守り、参加に同意します。

令和 年 月 日

筑豊地区中学校体育連盟 会長 殿

種目名	
学校名	中学校 年
氏名	
保護者氏名	印